



七戸の 議会だより

2009 年

NO. 16

平成 21 年 5 月発行

七戸町議会

広報編集 特別委員会



七戸小学校屋内運動場（体育館）完成する

三月 定例会

町政運営の基本方針	2
予算審査特別委員会設置	3
議会の主な審議内容	4
一般質問に 4 人登壇	6
委員会の動き	10

平成21年度町政運営の基本方針

◎都市基盤の整備

新しい町がひとつに結びつき、地域の活力を維持していくために、町づくりの基本となります。「都市計画マスタープランの策定」、「昭和・二ツ森線道路改良工事」、「橋梁長寿命化のための「橋梁点検調査業務」、「新幹線駅に係る土地区画整理事業及び駅周辺整備事業」など幹線道路の整備促進や人に優しい生活道路の改良促進に努め、豊かな自然環境との調和を保持しながら、暮らしを育てる都市基盤の整備を総合的・計画的に整備して、快適で彩りあふれる町づくりを目指します。

◎産業の振興

地域の活力の維持、強化を図るには、地域産業の育成支援が基盤とな

ります。

特に基幹産業であります農林畜産業は、グローバルな競争や、就労者の高齢化、後継者不足、資材高騰など極めて厳しい環境の中にありますが、ここに来て、輸入農産物の農薬残留問題などにより、国内産の農産物が、品質はもとより安心・安全な作物として国内外から高く評価され、需要が高まっておりますので、厳しい諸問題を克服し、経営基盤の強化と付加価値の高い農産物の生産に努め、この難局を乗り越えていくように農業振興に努めて参ります。

また、商工業も郊外の大形店や人口の減少、少子高齢化などにより、農林業に劣らず厳しい環境にあります。来々年12

月の新幹線開業を契機に史跡・景観を最大限活用した観光資源の開発や隣接市町村との連携を深め、交流人口の拡大を図ることにより、商業の振興に努めて参ります。

◎健康・福祉の充実

少子・高齢化社会にあつて、子どもから高齢者まで安心して暮らせる生活環境づくりを図るため、医療、保健、福祉サービスの一体化としたいやうにふれる地域コミュニティの形成を促進し、住民自らが健康の維持・増進活動の取り組み、心豊かに安心して暮らせる町づくりを目指します。

◎生活環境の整備

地域の歴史・文化や豊かな自然景観は、当町の

大きな特色・魅力となっております。

この優れた自然景観を保全し、交流体験等の場として整備・活用し、地域の活性化につなげていきます。

また、生活の安全を確保するためには、災害や犯罪などの緊急事態への体制の充実を図り、自然と調和のとれた快適な町づくりを目指します。

◎教育・文化の充実

町民一人一人が生涯にわたって創造性を育み、心豊かに生活していくために教育環境の整備が求められます。

特に学校教育環境の整備については平成21年度に天間館中学校、天間西小学校、七戸幼稚園の耐震診断を行い、順次改築していくこととしております。

また、日常的に多様な多彩な教育・文化活動が出来る教育環境の整備に努め、郷土愛を育み、

地域に根ざした個性豊かで伝統文化が息づく、豊かな心と文化を育む町づくりを目指します。

◎広域的な連携・交流の促進

交流は、地域に賑わいや刺激を生み出し、地域の創造性や活力を育みます。

特に、来々年12月に開業が予定される新幹線は、その周辺整備を進め、「ひと、もの、情報等」の広域的な交流基盤の確立と環境づくりに努

め、一体感あふれ魅力ある町づくりを目指します。

◎住民参加と行財政改革の推進

町づくりにあたっては、地域間格差を解消し、住みやすさや賑わいのある町を創出するために、住民自らが行政へ参画できる体制の確立を推進し、住民と行政の連携により地域自治能力の向上に努めて参ります。



本会議開会日に所信表明する福士町長（3月3日）



副委員長
佐々木 寿夫



委員長
原 子 孝

平成21年度一般会計予算

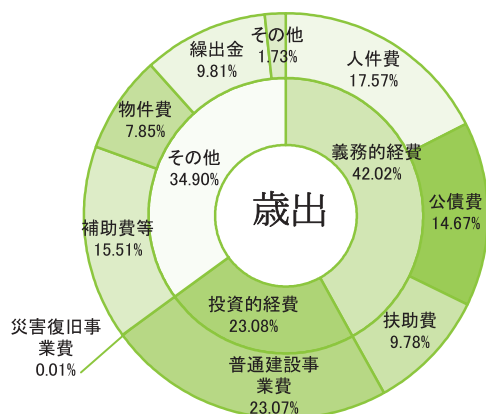
＝原案のとおり可決＝

総額 101 億 4,700 万円

予算審査特別委員会設置

3月3日・11日・12日

全議員（議長を除く）による予算審査特別委員会を設置し、平成21年度各予算10件を審査した結果、一般会計予算は賛成13反対2、国民健康保険特別会計予算は賛成11反対2、他の予算は全て全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定し、13日の本会議で可決されました。

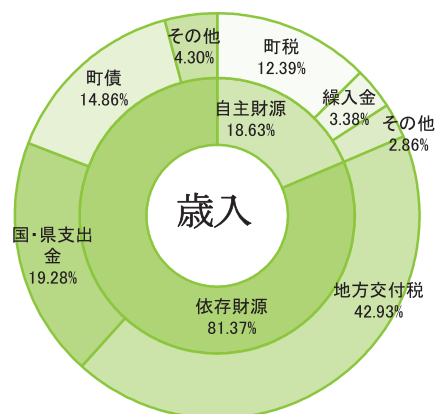


歳 出 101 億 4,700 万円

義務的経費	42 億 6,401 万 6 千円
人 件 費	17 億 8,271 万 6 千円
公 債 費	14 億 8,872 万 4 千円
扶 助 費	9 億 9,257 万 6 千円

投資的経費	23 億 4,174 万 9 千円
普通建設事業費	23 億 4,063 万 7 千円
災害復旧事業費	111 万 2 千円

そ の 他	35 億 4,123 万 5 千円
補 助 費 等	15 億 7,420 万 5 千円
物 件 費	7 億 9,608 万 9 千円
繰 出 金	9 億 9,513 万 7 千円
そ の 他	1 億 7,580 万 4 千円



歳 入 101 億 4,700 万円

自主財源	18 億 9,043 万 3 千円
町 税	12 億 5,704 万 0 千円
繰 入 金	3 億 4,323 万 4 千円
そ の 他	2 億 9,015 万 9 千円

依 存 財 源	82 億 5,656 万 7 千円
地 方 交 付 税	43 億 5,600 万 0 千円
国 ・ 県 支 出 金	19 億 5,658 万 9 千円
町 債	15 億 760 万 0 千円
そ の 他	4 億 3,637 万 8 千円

特別会計

◎国民健康保険	23 億 1,559 万 7 千円	◎老人保健	1,349 万 8 千円
◎後期高齢者医療	2 億 9,210 万 0 千円	◎介護保険	18 億 3,721 万 4 千円
◎介護サービス事業	1,339 万 5 千円	◎七戸霊園事業	262 万 2 千円
◎公共下水道事業	7 億 991 万 0 千円	◎農業集落排水事業	5,399 万 4 千円
◎水道事業会計	2 億 8,036 万 8 千円	(収益的収入及び支出)	

三月 定例会

主な審議内容

議案

平成21年第1回定例会は3月3日に開会し、三上正二議会運営委員長の報告のとおりに、会期を13日までの11日間と決定しました。
3日は、今定例会に上程された議案34件、諮問2件、報告1件の町長提出議案総括説明、新年度予算10件を審査するための予算審査特別委員会の設置、10日は一般質問(4人)、11・12日は予算審査特別委員会、最終日の13日は議案審議が行われました。
提出された議案は、本会議で審議され、全議案可決され予定どおり閉会しました。

民館分館長並びに分館主事の報酬については地方自治法第203条の2第4項の規定により定めなければならないことから、所要の改正をするためのもです。

正をするためのもです。

☆原案可決

☆原案可決

○七戸町国民健康保険税条例の一部改正

☆原案可決

○七戸町監査委員条例の一部改正

介護納付金の賦課限度額について、介護給付費や被保険者の所得の動向等を勘案し、中間所得層の負担軽減を図るため所要の改正をするためのもです。

☆原案可決

○七戸町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

公民館運営審議会について、七戸町立公民館設置条例との語句の整合性をはかるため、また図書館協議会委員及び公

○七戸町地域福祉交流センター条例の一部改正

☆原案可決

○七戸町ひとり親家庭等医療費給付条例の一部改正

☆原案可決

青森県ひとり親家庭等医療費助成事業実施要領の一部改正に伴い、所要の改正をするためのもです。

☆原案可決

○七戸町営住宅条例の一部改正

町営住宅の花松団地2棟4戸が完成したことに伴い所要の改正をするためのもです。

☆原案可決

○七戸町介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定について

厚生労働省より介護従事者処遇改善臨時特例交付金が交付されることに伴い、これを適正に管理運営するためのもです。

☆原案可決

○七戸町公の施設における指定管理者の指定について

七戸町文化村物産館等について、株式会社七戸物産協会を指定管理者として指定したので、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるためのもです。

☆原案可決

○町道路線の廃止について

昭和2号線を廃止するためのもです。

☆原案可決

○町道路線の認定について
昭和2号線を認定するためのもです。

☆原案可決

○城北保育所での事故に係る和解及び損害賠償の額について

平成2年4月9日に城北保育所で発生した事故に係る和解及び損害賠償の額について、決定したので地方自治法第96条第1項第13号の規定により議会の議決を求めるためのもです。

☆原案可決

○七戸町字七戸37番地の盛田稔氏に名誉町民の称号を贈ることについて

七戸町名誉町民条例第3条の規定に基づき議会の同意を求めるためのもです。

☆原案同意

平成20年度3月補正予算

区 分	補 正 額 → 予算総額
一 般 会 計 (第5号)	6億5,200万0千円→104億 960万0千円
特 別 会 計	
国民健康保険 (第4号)	△1,389万9千円→ 23億7,360万7千円
老人保健 (第3号)	△2,579万7千円→ 1億7,249万7千円
後期高齢者医療 (第2号)	△ 280万8千円→ 3億 526万0千円
介護保険 (第4号)	978万3千円→ 18億 718万4千円
介護サービス事業 (第1号)	130万3千円→ 865万6千円
公共下水道事業 (第4号)	△ 659万2千円→ 6億6,857万8千円
農業集落排水事業 (第3号)	△ 45万6千円→ 4,491万0千円
水道事業会計 (第2号)	△ 579万5千円→ 2億9,291万2千円

※ () 内の号数は、補正予算の回数を表します。

諮 問

○人権擁護委員の候補者に諏訪道子氏、荒谷利律子氏を推薦することについて

人権擁護委員法の規定により議会の意見を求めるものです。

☆原案同意

報 告

○土地開発公社予算について

☆報告

陳 情

○国外で作製された歯科医療用補てつ物の取り扱いに関する陳情書

☆採 択

新町長就任する

4月19日執行の七戸町長選挙の結果、小又勉氏が当選し、4月24日に町長に就任しました。



同時に行なわれました欠員による七戸町議会議員補欠選挙(第一選挙区)の結果、天間章八氏が当選しました。

(当選2回)



青森県町村議会議長会表彰を受章

平成21年2月26日に青森県町村議会議長会総会において、表彰及び記念品が贈呈されました。

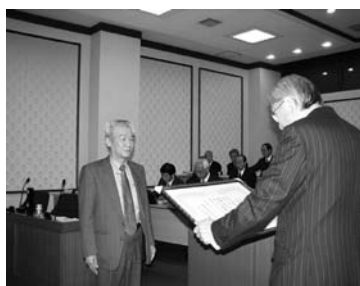
この表彰は、町村議会議員として11年以上及び19年以上在職し功労のあった議員に贈られる表彰です。

19年以上の表彰者は、工藤耕一副議長、田島政義議員、二ツ森圭吉議員の3名が受章、11年以上の表彰者には、天間清太郎議員が受章されました。

写真は3月3日開会されました第1回七戸町議会定例会での伝達の様子です。



田島政義議員



工藤耕一副議長



天間清太郎議員



二ツ森圭吉議員

一般質問



佐々木寿夫 議員

不景気から
町民生活を
守る対策は

議員

100年に一度という不景気の中、当地域においても自動車会社の派遣切りと思われる離職者や失業保険受給者が増えており、会社の倒産など厳しい事態が続いています。また、町の基幹産業である農業もWTO体制で大変厳しい状況に置かれています。町民の生活

をこの不景気から守っていくことが重要だと思い、町内において、仕事を失った人の実状はどうなっているのか。また今後、仕事や住宅を失う人に対する雇用対策や公営住宅などの確保はどうなっているのか伺いたい。

町では緊急雇用対策を実施します

町長

全国的な経済・雇用情勢の悪化に伴い、当町においても失業者が増加しているものと認識しております。町内の詳細な失業者数は把握できませんが、野辺地公共職業安定所管内の今年1月末現在における、失業による雇用保険の給付が、前年同月比104人増の203人で、求人数は前年同月比160人減の455人となっており、町内30企業を調査したところ、2月末の解雇者は6名で、求職者は120人と増加傾向にあります。町では緊急雇用対策として、町道維持管理などに6ヶ月間の雇用期間

ですが、34人の新規雇用を予定しており、他に新幹線開業に伴う観光情報サイト構築のため、事業従事者を2年9ヶ月間の雇用期間ですが、5人の新規雇用を予定しております。今後も雇用創出に向けた事業が予想されることから、商工団体等と一丸となって対応してまいりたいと思います。また、公営住宅の空家状況を把握し、住居の困窮している方からの問い合わせがあった場合は、雇用促進住宅の活用を含め対応してまいりたいと思います。

医療対策はどうなっているか

議員

後期高齢者医療制度が始まって1年になろうとしておりますが、この制度の実施に伴う保険料の納入状況や医療の問題点を伺いたい。次に、この不景気の中、国保税が高いと多くの町民が感じているところ、平成19年度決算を見ると、およそ1億9千万円の調整基金があります。19年度か

ら20年度までは後期高齢者医療制度や前期高齢者医療制度など、さまざまな改革がありました。町民の家計が冷え込んでいる中、国保税の納入の実状と無保険者への対策はどうなっているのか。また、調整基金を使用して国保税の引き下げができないか伺いたい。

基金を国保税に充当することは不適切

町長

2月現在の後期高齢者医療保険料の徴収率は99・55%で未納者は21人おり、1年以上滞納すると資格証明書が交付されますが、納付相談等を実施して資格証明書の対象にならないように努めております。また、医療内容は原則的に老人保険制度と同様になっておりますが、広域連合が保険料の決定や医療費等の業務を行っているため、町は医療内容等の問題点については具体的に把握できない立場にあります。次に、1月現在の国保税の収納率は86・51%で未納

者は511人おり、収納率は年々下がってきており、納税相談を行なって計画的な納税を進めておりますが、納税計画を履行しない場合や納税相談に応じない場合、資格証明書を交付することとしております。現在、26世帯に交付しておりますが、高校生以下の子どもがいる世帯に対しては資格証明書は交付しておりません。また、国保財政は国・県の公的資金と国保税を財源としておりますが、調整基金は国の指導により高額な医療費が発生した場合など、特別な要因による変動に対応するため積み立てられており、この基金を国保税引き下げに充当することは適切ではないと思われます。

流雪溝が詰まる原因と対策は

議員

昨年12月、2回にわたり大雪の時、小川町、下町地区で流雪溝が詰まり、流雪溝から水が溢れて各商店に流入し、床下浸水するなど問題が発生しました。被害

通水機能の改善に努めたい

町長

流雪溝は町内の地区により投雪時間が定められておりますが、一部の方により時間が守られず、多量の雪が投雪され途中で詰まって、何回となく水が溢れる被害が出ており、そのたびに職員が出勤しております。広報等により投雪時間を守るよう町民に周知しておりますが、流雪溝が詰まらないように通水できるよう、また、夏場には流雪溝の点検整備をし、冬期間の通水に支障がないよう機能改善に努めてまいりたいと思います。



瀬川 左一 議員

町は失業者に対し どのような対策を 計画しているのか

議員

世界同時不況に起因する大量解雇問題に伴って、当町の出稼ぎ者も解雇され、年度替りの4月以降、都市部から当町に戻ってくるものが予想されます。町はこの問題について、具体的に町内の失業者数、出稼ぎ不能者数、生活保護申請数などの現状を把握しているのか。

か。そして、今後益々増えることが予想される失業者について、どのような対策を計画しているのか伺いたい。また、仕事に関する相談窓口を開設する考えがないか聞きたい。

への答弁のとおりですので割愛させていただきます。思います。

次に、国は食料自給率向上と失業問題を絡めて、厚生労働省と農林水産省の連携で、とりわけ農業への就職を呼びかけています。しかし、農産物の市場価格は下落する一方で、農家の収入は実状に見合うものではありません。国は農家が新規就農者を受け入れやすいよう、生産者価格の安定を保つ生産指導など抜本的な解決策を打ち出すべきです。町は国に対して、失業者が農業に第二の人生をかける職場となるようにするための支援を訴えていかなければならないと考えますが、町長の意見を聞きたい。

多くの雇用がうまく れるよう取り組み たい

町長

当町の失業状況と雇用対策については、佐々木議員

出稼ぎの状況は届出をして

いる方は83人で主に関東圏の62事業所に雇用されて

おりますが、解雇されたなどの報告は今のところございません。生活保護世帯は206世帯で298人が受給しており、前年比12世帯23人の増加となっております。これは年々増加傾向にある母子世帯及び高齢者世帯などの生活困窮者の増加によるもので、経済不況による失業者の影響によるものではないと思います。い

ずれにしても、経済雇用の悪化が続くことになりま

す。失業者の増加が予想されることから、多くの雇用がう

まれるよう取り組みでまいりたいと思います。

次に、現在国では、第2次補正予算により農業生産法人等が新規就農者を雇用し、就農に必要な技術・経営等の研修を行う場合の就農者を育成する事業を実施しております。

また、県では、営農大学

校において先進農家での野菜・花卉の栽培技術から農業経営まで研修する事業を行っています。

町としても意欲を持って就農する青年等を確保し、育成するため先進農家の受け入れ先の農業生産法人や認定農業者に対して、負担軽減を図るため助成を行っており、現在農業生産法人及び認定農業者350人中、受け入れ農家が3戸であります。

また、生産者価格を含めた農政の抜本的な見直しについては、国・県へ農家の実状を訴えて、取り組みやすい事業が展開していただくように引き続きお願いしてまいりたいと思います。

また、生

産者価格を含

めた農政の抜

本的な見直し

については、

国・県へ農家

の実状を訴え

て、取り組み

やすい事業が

展開していただ

くように引き

続きをお願い

してまいりたい

商工観光課長

求職相談については、職業安定所の窓口で全部コンピュータ処理しているの

で、市町村に向いて相談所を開設するという

ことは難しい現状であります

が、今後関係課と協議させていただきます

と思います。

町長の職責を振り 返つてみて

議員

富士町長の通算5期19年の長期にわたる町政運営の

労苦に対し、敬意と感謝を申し上げます。旧七戸町から新七戸町の町長として、そして上北郡のリーダーとして富士町長の残された功績は偉大なものと信じておりますが、今後も町のよきアドバイザーとして力添えをいただきたいと思います。

さて、19年間の町長の職責を振り返り、感想や今後の町の展望、また、残された課題などについて意見をいただきたいと思います。

残された課題は、両商工会の一本化の見通しが立たないこと

町長

19年間、新幹線のミニ

からフル規格への復元の問題、道の駅建設、県畜産市場の誘致、中山間整備事業、作田地区の大区画整理事業など実現させて参りましたが、中でも町村合併は当初計画が二転三転いたしました

今のような形の合併ができ、合併後においてもほとんどトラブルもなかったことは、皆さまの大変なご理解とご支援の賜物であります。

また、今後の町の展望ですが、来年12月開業の新幹線の駅を中心に限りなく発展していくためには、町民一丸となって大きな夢に向かって頑張っていたらいいと思います。

残された課題ですが、七戸・天間林両商工会の一本化がいまだに見通しが立たないことでもあります。両商工会合併のために私なりに努力しておりますが、方向の道筋さえ立たない状況であります。残りの任期までの間、最善を尽くしてまいりたいと思います。



盛田恵津子 議員

子どもの安全問題について

議員

昨年11月に発生した子どもが犠牲になった事件について、町当局は対応策や再発防止策を検討していると思いますが、どのような対応策や取り組みをしているのか。1点目として、町内会や常会などに働きかけて、安心・安全の町づくりはなされているのか。2点目として、今後の具体的対応策として、子どもの虐待発見・通報・保護・指導防止

など、子育て中の家庭に適切な指導や情報提供を行なっているのか。

3点目として、町長は、心のあり方について、町民に広く呼びかける考えがないのか伺いたい。また、教育長は児童・生徒や保護者に対して、人間としての心のあり方や命の尊厳などについて、働きかける考えがないのか伺いたい。

子どもの見守り態勢の強化に取り組む

町長

1点目については、毎日の生活を安全で安心して暮らせることは町民すべての願いであり、犯罪のない地域社会の実現は町民の生活基盤となるものです。昨年は当町において痛ましい事件が発生したことは、極めて重大な問題であり、その対応については町を挙げて取り組む決意をしているところ。現在、町内会・常会等の組織が127団体ありますが、未だに町内会等への未加入者が相当数あり、未加入者によるゴミ分

別収集の不徹底などによるトラブルがあることから、地域住民相互の連帯感を強めるためにも、町内会等への加入促進を図っていくことが重要であると考えております。さらに、子どもの見守り態勢についても、地域住民と関係団体が連携しながら、地域全体で取り組んで参りたいと考えております。

2点目については、子育て支援センターの有効活用、毎月1回の町内保育園・所長会議の開催、民生児童委員による子どもの見守り態勢の強化、町要保護児童対策地域協議会による対応策の協議などを実施しております。さらに、今後の取り組みべき課題や対応策等を検証し、再発防止と関係機関へ報告することを目的として、事件検証会議を設置し21年3月を目途に報告書を取りまとめ、関係機関と連携協議しながら具体的な対応策を明示したいと考えております。

3点目については、平成17年10月制定した七戸町民

憲章を町内で開催される生涯学習等各種会合において唱和を行なうなど、町民に対して啓蒙・啓発を図り、町づくりの活動の柱にしたと考えております。

教育長

教育委員会では、学校生活はもとより参観日、PTA活動や地区懇談会等において、人間としての心のあり方・命の尊厳等について、講話をするよう指導するとともに、情報収集を図り早期発見・防止に努めているところ。また、地域との連携を図るため学校行事等において、学区内の町内会長や民生委員に対して、情報交換等を図る活動の推進を検討してまいりたいと考えております。さらに、校外講師として人権擁護委員に講師を依頼して、人権擁護の立場から命の尊厳等について、各学校において勉強会を開催しているところであります。

富士町長の総括について

議員

富士町長は5期19年にわたり多くの町民から指示され、町政発展のため粉骨砕身されてきました。特に、道の駅・文化村の建設は美術館との併設で、町内商業者や農業者にとつて大きな弾みとなり経済効果をあげているところで。

さて、町長に次の3点について伺いたい。1、旧七戸町長時代を振り返って。2、合併し初代新町長としての感想。3、今後の町政に期待することは何か。

就任し、最初に取り組んだのは新幹線のミニからフル規格への復元であつた

町長

初めて町長に就任し、取り組まなければならなかったのは、新幹線のミニからフル規格への復元でした。次に、新町地区の水害対策ですが、県の指導により地下に雨水道を建設する

ことにより水害解消することができました。

また、旧七戸町内の裏小路百数十路線の生活関連道路を計画的に工事を進めてきて、現在も継続して整備しております。さらに、ふるさと創生資金の1億円については、人材育成のための奨学金として使わせていただきました。

次に、合併後の初代町長の感想は、旧七戸町と旧天間林村は歴史的に同じ圏域の中で交流してきただけに、考え方や生活習慣は極めて似ていることが分かり、この合併はうまくいくなと思ひ、気持ちよく公務に専念できました。

また、今後の町政に対する期待については、瀬川議員に答弁しておりますので割愛させていただきます。



川村 三十三 議員

不況と町行 財政につい て

議 員

七戸町と世界的不況問題について尋ねますが、不況は町の自主財源である町民税等に影響が出てくるものと思います。平成 21 年度の国の予算をみた場合、地方交付税等の配分が厳しいと思われるですが、町当局の見方は如何でしょうか。

次に、新年度における町の重点施策と財源の捻出方法を示してほしい。また、新幹線開通に向けて、町は予算総額の 20% 台を計上しておりますが、開通までの

足取りを具体的に示してほしい。

次に、町村合併から 4 年が経過しましたが、行政改革の先取りなのか公共施設問題等について、様々な事が聞かれておりますが町長はこの事を存じていますか。また、この事が行政改革の枠組みの中に入っているのかも答えてほしい。

次に、定額給付金事業の支給方法及び支給日等について、いつ、どのような手続きで支給されるのか伺いたい。

町民税等の減収や 失業に伴う滞納の 増加が予想される

町 長

世界規模の経済不況は、当町の町民税等の減収や失業に伴う滞納の増加が予想されることから、憂慮しているところです。また、当町の平成 21 年度の地方交付税は、国の特例措置により 1 億円の増額が見込まれますが、平成 22 年度以降は減額が予想され、特に平成 27 年度からは財政運営は厳しくなるものと思われれます。

次に、新年度重点事業として、新幹線開業関係では新駅周辺整備事業等として約 17 億円を計上し、事業を重点的に進めます。他に、

農林業関係では農産物直販施設建設事業として約 3 億円、教育関係では学校施設の耐震診断事業として約 1 千万円を計上しております。

次に、平成 18 年 2 月に策定した町行政改革大綱に基づき、行財政の抜本的な見直し等を実行してきましたが、公共施設については先般、道ノ上保育所を民営化したところ です。なお、議員指摘の事については、どういう事なのか初めて聞いたわけですので、答弁はできません。

次に、定額給付金は各世帯への申請書の発送を 3 月下旬に、そして 4 月上旬に各世帯からの申請書の受付をし、4 月中旬に第 1 回目の振込みをしたいと考えております。

イオン出店が不調 の場合の責任は

議 員

イオン・ジャスコの出店問題は、町と契約書の取り交わしのまま推移しているが、不調の場合の責任はどうなるのか伺いたい。

次に、新幹線開業に伴う観光のあり方ですが、今、十和田を中心とした動きが出ているものの、七戸の動きがないような気がするのですが、どのようになっているのか伺いたい。

早い時期の開店を 信じている

町 長

平成 22 年 12 月の新幹線開業の時期が迫ってきていることから、平成 21 年度の早い時期にイオン開店に向けた具体的なスケジュールが示されるものと信じておりますのでご理解ください。

次に、当町を含む 8 市町村による周遊型・滞在型の広域観光を促進するため、十和田市を事務局とする広域観光圏協議会を設立して

おりますが、当町独自の観光事業計画としては、JR 東日本企画「駅からハイキング」の実施に向けての協議検討しているところです。

一次産業に対して の対処は

議 員

一次産業に対して、町はどのように対処しようとしているのか伺いたい。

耕作放棄地の解消 に努めたい

町 長

農産物価格の低迷や農業後継者不足などにより、耕作放棄地が水田 152 ヘクタール、畑 87 ヘクタールが確認されておりますが、町では耕作放棄地の解消を図るため、県農協等関係機関と連携を取りながら、解消に努めてまいりたいと考えております。

19 年間の町政運営 の労苦について

議 員

町長 19 年間の町政運営の労苦について伺いたい。福

士町長は地主政治からの脱却を目指して当選した町長でした。選挙から学ぶものがあるとすれば、勝ち組負け組みであれ、町民のために公平・公正な政治を行うという民主主義の根幹を忘れないことだと痛感したことです。今後も町の発展のために協力ください。

多くの課題を克服し 実現できたと思う

町 長

私は何事も公正なくして信頼は生まれず、信頼なくして創造と強調へつながら進歩発展はないとの信念から、公正を基本に町民の視点に立った町政運営に努めてまいりました。振り返ってみて、皆様のご支援により大過なく、新幹線をはじめ多くの課題を克服し実現できたと思っております。

委員会の動き

◎文教厚生常任委員会

開催日 平成21年2月10日

案 件 ① 子どもの安全問題について

② 要請事項に対する回答について

③ 3月定例会における懸案事項について

④ その他

内 容 子どもの安全問題については、前回に引き続きその後の経過等について関係担当課長より説明を受け協議した。要請事項に対する回答は、社会生活課長より説明を受けた。また、3月定例会における懸案事項のある担当課長よりそれぞれ説明を受けた。

◎総務企画常任委員会

開催日 平成21年2月12日

案 件 ① 要請事項に対する回答について

② 3月定例会における懸案事項について

③ その他

内 容 要請事項に対する回答は、総務課長及び企画財政課長より説明を受けた。また、3月定例会における懸案事項のある担当課長よりそれぞれ説明を受けた。

◎建設産業常任委員会

開催日 平成21年2月17日

案 件 ① 要請事項に対する回答について

② 3月定例会における懸案事項について

③ その他

内 容 要請事項に対する回答は、建設課長より説明を受けた。また、3月定例会における懸案事項のある担当課長よりそれぞれ説明を受けた。

◎議会運営委員会

開催日 平成21年2月28日

案 件 ① 第1回定例会提出議案等について

内 容 総務課長、企画財政課長から提出議案等の説明の後、常任委員会の要請事項に対する回答、陳情、会期日程等について審議した。

開催日 平成21年3月3日

案 件 ① 一般質問について

内 容 一般質問通告者4名の質問内容等について、質問事項、質問要旨について審議した。

◎議会広報編集特別委員会

開催日 平成21年4月13日・20日

案 件 ① 議会広報について

内 容 5月発行の議会だよりの編集等を行った。

編集後記

去る4月23日、任期満了のため富士孝衛町長が退任されました。
旧七戸町の時から数えて5期19年の長きにわたって、七戸町政のトップリーダーとして数々の難局を乗り越え、町民の幸せのため町政運営に邁進された姿は、町民の記憶に深く刻まれているものと思います。
本当におつかれさまでした。

(附田)

議会広報編集特別委員会

委員長 附田 俊仁
副委員長 松本 祐一
委員 川村 三十三
盛田 恵津子
瀬川 左一
佐々木 寿夫

た。

富士町長のその思いを、われわれがきちんと引継ぎ、そして後世へとつないでいきたいと考えております。

さて、先般開催された平成21年3月議会では、新年度予算について真摯に議論され、来たる新幹線時代の礎を築くための予算が可決されました。

この新年度予算を有効に活用して、さらなる七戸町の発展と町民の幸せを追求していくことを、新七戸町

